



昭和34年4月18日制定

あさひ

学校便り 7月号
令和元年6月28日
横浜市立旭小学校

学校で学んだことを日常生活で生かす

学校長 高桑 透

昨日、5年生が御殿場宿泊体験学習から帰ってきました。3日間の体験が充実したものであったことを、子どもたちの表情から伺うことができました。4年生の野島、6年生の妙高でも、学年に合わせて決めためあてをしっかりと意識して取り組むことができました。その後の学校生活では、一回りも二回りも成長した姿を見せてくれています。事前の準備などを含め、ご家庭でのご協力をご感謝します。ありがとうございました。

来年度から本格実施される学習指導要領には、「学校で学んだことが、子どもたちの『生きる力』となって、明日に、その先の人生につながってほしい。」という願いが込められています。子どもたちの『生きる力』を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、とても大切です。

例えば校外学習に行ったときには、どんな力が必要でしょうか。公共の場での振る舞いは、家庭での経験が大きく生かされます。4年生と一緒に資源循環局見学に行きました。グループごとに路線バスに乗りましたが、おしゃべりをせず、静かに過ごすことができました。乗るときには「お願いします。」、降りるときには「ありがとうございました。」と挨拶することもできました。ほかのお客さんに迷惑をかけることもなく素晴らしかったと思います。また、気になったこともありました。点字ブロックの上を平気で歩いたり、立ち止まったりしている子もいました。点字ブロックの意味を知らないのだと考え、その場で乗ったり歩いたりしないことを指導しました。外に出て実際に体験することで理解できることもたくさんあります。これからは、日常でも点字ブロックの意味を考え行動できると思います。

見学の仕方については、学校での学習が生かされます。説明が始まったときに静かにしたり、メモを取ったり、わからないことを質問したりすることができていました。授業中、静かに先生や友だちの話の聞いたり、黒板に書かれたことをノートにまとめたり、わからないことを質問したり、ということが学校生活でできているからこそその姿だと思い、感心しました。中には、説明をしていただいているにもかかわらず、よそ見をしていたり、手いたずらをしていたり、おしゃべりをしてしまう子もいました。まだまだ身についていないと感じる場面もありました。

たった1回の校外学習の子どもたちの様子からたくさんのことが見えてきます。学校で学習した力をどのくらい使うことができるのか、足りないことは何か、これから学校で取り組むべき課題は何かなどです。その課題について、子どもたちと共有したうえで、日々の学習を進めていきます。それを繰り返していくことが、**学校で学んだことを日常生活で生かすこと**につながっていくと思います。子どもたちが学校で学んだことについて、ご家庭でもぜひ話してみてください。保護者の皆様の働きかけが、子どもたちの「生きる力」を育む原動力になります。よろしくお願いします。



7月 取組の 目標

生活目標
保健目標

暑さに負けずに元気に過ごそう

清掃目標

傘立て、くつ箱をきれいにしよう

給食目標

好き嫌いなく食べよう